

こんな 質問 がありました

(抜粋しています)

平成24年度一般会計補正予算(第6号)

問 「地域の元気臨時交付金」はどのような事業に使われているのか。

答 町単独分の建設事業へ充当している。

問 ため池の耐震調査の内容はどうか。

答 危険度の高い受益面積5ha以上の4つの池に対して、ボーリング調査、ハザードマップ作成を行う。

問 林道災害復旧費の予算内容はどうか。

答 国の経済効果対策により追加補正されたものであり、災害規模の大きな箇所などを選定して実施していく。

平成25年度一般会計当初予算

問 中津、美山支所の地域公共施設維持費とは。

答 地域公共施設維持費100万円については、支所が管理している公共施設全般にわたり対応する費用である。

る費用である。

問 紀の国わかやま国体町実行委員会負担金について。

答 実行委員会の準備に係る経費である。

問 紀の国わかやま国体町実行委員会では今後、国体に向けてどういうシナリオで進んで行くのか。

答 実行委員会メンバーは80人規模を予定している。専門委員会を設け総務企画、競技、式典、宿泊、衛生、輸送、警備

といった細かい専門分野を設け準備を進めていく。

問 特別職の給与の問

題で副町長が3月末で退任されるが、25年度も4月より給与が計上されているがなぜか。

答 自治法の中で副町長を置くことができる。

問 町広報の編集で記事の内容がかたよってないか。

答 広報については各課に依頼し、全体的に目配りして記事の収集に努める。

問 公共交通活性化協議会負担金は、コミュニティバスの費用であるが、デマンド化を考えての予算付けか。

答 コミュニティバスの従来通りの計上額である。

問 LED防犯灯の、今年度予算における設置計画の内容は。

答 1千万円の予算の範囲内で100%に持っていきたい。

問 各地区の事情も考慮して、継続的に進めていく。

問 国保の一本化で急激な税値上げの緩和策として、3ヶ年にかけて一般会計から繰り入れをしているが、予定通りになっているのか。

答 23年度に1人当たり7千円、24年度に4千円の減免をしてきた。25年度は平準化することになるが、6500万円を繰り入れして緩和する。

問 健診の受診率向上等のため、予防費を増額しているが、目標は。

答 予防接種でも増額している。健診受診率は県下でも本町は高いほうであるが、国の目標設定から見ると低い。25年度からは、個別健診を取り入れ、向上を目指したい。

問 臨時の保育士と調理員の賃金の増加理由は。

答 正規職員に少して

問 合併前からの経緯と現在携わっている人の関係があり、統一は難しいところだ。しかし、清掃車が古くなってきており、今後は検討が必要と考えている。

答 定年は60歳と設定しているが、上げることを検討している。

問 老人大学あやめ学園の園舎は老朽化して防災上も問題がある。駐車場の便も悪い。

答 各部のうちカラオケ部は既に園舎を出て活動しているが、移転を検討すべき時期にきているのは。

問 学園長からも要望されている。空調や器具設備の関係で経費がかな

ない。

ない。

ない。

ない。

ない。

ない。

ない。

ない。

ない。



簡易水道が整備される上初湯川追谷地区

りかかると見ているが、どこかに移転を考えている。かねばならないと認識している。

問 水害後、川沿いに水害ゴミや不法投棄ゴミが沢山ある。放っておくのか。県とも相談し回収を急いで欲しい。

答 今年度に調査をして補正予算を組むなどして対応したい。

問 有害鳥獣捕獲報償費については1月の時点で4447万7千円で2月、3月も含めると5300万円の見通しになるか。

答 ニホンジカの管理捕獲費も含めた金額で、残りの支払は鳥獣害対策費の余剰金が見込まれるので、手当てしたい。

問 捕獲に従事されている方は140人ぐらいで平均、年額で31万円の支払いをしなければならぬと思うが、その支払い方法は。

答 月払いが原則で、

できるだけ早く支払いできるようにしている。

問 農業費全体（3億4千600万円）の約15%が鳥獣害の対策費であり、効果が上がる対策にしなければ納得してもらえないのではないか。

答 地域ぐるみで取り組んでいくことがいちばん大事なことで、捕る、囲うを平行して進めていく。

問 捕獲報償費が多額になってきているが、納税義務はあるのか。また、申告指導はされているのか。

答 報償費は雑所得となり、当然申告が必要だ。免許保持者にその旨を通知している。

問 水害によって延期となっていた上初湯川追谷簡水施設の工期は。

答 25年度からの新規事業で26年度完成予定。

問 産品加工所に町として委託料を支出しているが、住民誰もが利用で

きるようなことになっていない。生研グループなど、特権的な利用になっているのではないか。

答 衛生面の管理もあり、どうしてもグループ中心となる側面があると思う。

問 中津と美山で利用形態は少し異なるが、新規の方の利用について、相談して調整していきたいと思う。

問 ホロホロ鳥への助成は過去30年続いている。特産品とはいえ、飼育農家は2軒、それも町外の方が1軒となっている。見直しをすべきでないか。

答 出荷量は3600羽と少ないが、中津村の特産品として合併後も引き続き継いでいる。今のところ2名で頑張っていたら2名で積極的にPRや生産者増の活動をしており、今までどおり助成していく。

問 町の特産品であるホロホロ鳥育成には30

0万円を助成している。一方、同じ特産品でありながらシイタケ栽培には20万円しか補助していない。

答 シイタケ生産農家が少なくなっている中、こんなことで良いのか。

問 シイタケ部会に対して、僅かな額だがシイタケコマ（菌）の補助をしている。

答 シイタケの生産は落ち込んでいと思うので、今後の動向を見ながら考



町の商店を元気に!

料は、当初の契約通り、25年度は8400万円に減少している。

問 町にとっては喜ばしいことだが、3年契約の最終年であり、経営が難しいとなれば契約しないことも考えられる。

答 そうなれば、100名を越える従業員を抱える町内でも大きな職場がなくなることになり、社会問題となる心配はないのか。

問 水害で施設が稼働できない事態が起こり、業者の思惑通りの運営になっっていない部分もあるが、契約通りの予算措置とした。

問 26年度以降のことについては、継続を含めての公募となるのではないか。

答 25年度も復興支援としてプレミアム商品券補助を200万円予算化しているが、好評につき増額できないか。

問 また、商品券の印刷費等は商店負担と聞くが、

改善できないか。

答 去年度同様とした
い。印刷費等については
確認したい。

問 プレミアム商品券
の発行は、町内商店の復
興だけでなく、町内の被
災者の元気にも役立てな
ければならない。5万円
の最高額で券を買ったな
ら240名しか活用でき
ない。販売の仕方をもう
少し工夫すべきでは。

答 取り扱い店舗の被
災状況や券の販売の仕方
について、商工会と協議
したい。

問 国体開催関連でレ
イクセンターの修繕を予
算化しているが、具体的
な説明を。

答 建屋の傷んだ部分
の修繕と電気設備の改修
を予定している。周辺の
観覧席等の整備は、のち
に予算化を考えている。

問 国体においてアー
チエリーとカヌー競技の
実施で、ハード面は別に
して運営面だけの費用は

どれくらいかかるのか。

その負担はどこが持つ
か。

答 他県での開催例を
見ると、カヌーで約8千
万円、アーチエリーで約
7千万円の計1億5千万
円となっている。

これらの費用負担は、
未だ確定していないが、
前例から見れば3分の2
が県からの補助となっ
ている。

問 愛徳荘に227万
9千円の工事費で薪ス
トープを1基設置するが、
薪ストープは1基35万円
程度のものであり、一般
家庭ではその倍の工事費
用で設置できると聞くが、
費用がかかりすぎではな
いか。また宿泊施設で本
当に効果のある使い方が
できるのか。

答 基本的に災害時の
避難場所となっている愛
徳荘で、電気が途絶えた
ときに暖を取れるという
ふうな取り扱いとなろう。
管理については施設側

と今後、十分協議してい
きたい。

設置費用が高くつくの
は、床や壁の耐火化の建
設工事や煙突工事が大き
なウエイトを占めるため
だ。

問 公営住宅で追い焚
きのできない電気温水器
があるが、今後の対応は。

答 昨年にアンケー
トを実施し、16世帯の
方々から追い焚き機能が
欲しいと回答があったの
で、再度希望者と調整や
確認をしながら今年度の

冬までには対応していく
。

問 道路作業員の安全
確保の中で、3地区で5
人体制では無理がある。
仕事量も全く正規と同
じなのに、給料面など格
差が大きすぎる。

人員を増やし正職員に
すべきと思うが。

答 5人の人数が適正
であるかどうか、臨時職
員についても今後検討す
る。

問 町道三百瀬西廻り
線の改良について、骨格
予算の中で唯一新規事業

としたい。

で予算化しているが、理
由を聞く。

答 三百瀬区より、水
害の避難路として改良の
要望があった。また、日
高川の砂利処理場として
路線沿いの池を埋め立て
したいとの県からの要望
もあり、今回2車線化で
改良したい。

問 本町には避難路と
して整備が必要な路線が
沢山ある。2車線化を原
則とするのか。

答 状況に応じて判断
したい。

問 日高川の治水研究
に100万円の委託料を
24年度に引き続き25年度
も計上しているが、研究
成果の発表はいつになる
のか。

答 それぞれ年度末に
は学術発表（論文の上で
発表）をいただけるので
はないかと考えている。

問 診療収入で後期高
齢者診療収入が前年度と
比較して198万円少な
く計上されているのはな
ぜか。

答 後期高齢者医療診
療収入の減額は国保診療
から後期のほうに移ると
いうことが多いというこ
とで、被保険者数が減っ
てきているためである。

**平成25年度介護保険事
業特別会計当初予算**

問 県支出金が今年
はゼロとあるが、県からの
財政安定化基金の交付金
は昨年あったのに今年
はなし。県には財源があ
ると思うが。

答 財政安定化基金交
付金667万9千円の減
額は第5期保険料の抑制
策として県が財政安定化
基金を取り崩して各市町
村に交付されたものであ
る。25年度はない。



温水器改修

平成25年度国民健康保
険事業川上診療所特別
会計当初予算